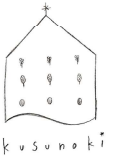


1、団体名 認定こども園くすの木



2、今年の活動概要

◎認定こども園 くすの木は、古川を挟む西原（乳児園舎）と東原（幼児園舎）で構成されています。

園庭を持っていない園ではありますが、地域の街や自然を丸ごと遊び場とし、積極的に園外へ出掛け、自然に触れて遊んでいます。地域の方々、とも盛んに交流を行っており、子どもたちやスタッフも、遊びの中からうまれた興味関心を広げ、調べたり、観察したり味わったりと、五感をたっぷり使った活動に、夢中になれる時間を楽しんでいます。

お茶作りへのみちのり

食べられる植物ってなーに？

土手へ行くと、「ほとけのざ」の蜜を吸い、すっぱいね！と言いながら「スイバ」の味を堪能しています。お部屋で【野の花えほん】を広げていた時のこと。

「カラスノエンドウって食べられるんだね」
ということを知りました。他にもクローバーやすみれの花も！！そこで食べられる植物探しが始まりました。



スイバ、ミント、どくだみ、などなど沢山の自然物を摘んできました。

Y : 「どくだみって毒があるん??」

大人 : 「体の中の毒を出してくれるからどくだみって言うんだよ～」

Y : 「えー知らなかった」

R : 「匂いたい!!」

R : 「どくだみの新芽、いいにおい♡」

体にいいお茶の話から様々な自然物を使ってお茶を作ってみようということになり子ども達は、新芽にこだわって摘んでみたり、匂いを確かめてみたりと五感をフル活用して不思議さや驚きに触れる日々を過ごしています。

お部屋は体にいい匂いが香っており、、、

大人 → 「リラックスするね～」

S → 「リラックスって何？」

Y → 「リラックスっていうのは「ふう～ってすることだよ」



どくだみの新芽
みつけたよ!



くんくん
いいにおいがするよ



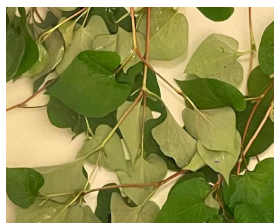
すりばちで擦ってみると、しっかり色が出るものもあれば、うすーく色づくものなど様々で、水を加えたり、振ってみたりと色々と試しました。ラベルも手作り！お茶に合う色の色紙を選んでいるのもこだわりのポイントになっているようです！！

大人の想像をはるかに超えて子ども達の発想の豊かさに日々感心しています。「ペットボトルが足りない・・・」「ラベルを作る紙が欲しい・・・」などなど、子ども達の気持ちに寄り添いながら遊びの展開を一緒に楽しんでいます。

年長さんがお茶を作っている様子を横でじーっと見つめていたYちゃんとKちゃん。出来上がったお茶をならべ、大きな声で「いらっしやいませ」と、お茶屋さんになっていました。ペイペイ払いができるそうです！



大人のお茶作りワーク



50度洗いで栄養価アップした後は、涼しい場所で乾燥。



ホットプレートでパリパリになるまで煎ります。煎った後は、もみほぐし。



完成です！！

こどもたちのお茶作りから、大人も刺激を受け、園長(またの名を魔女)に伝授してもらいながらスタッフも本格的にお茶作りを体験し、試飲をしました！今度は子どもたちとも作ってみたい！と、ワクワクは止まりません。

桑の葉茶を試飲

葉を収穫し、50度洗いをしたのち、炒って手揉みをして完成させた桑の葉茶、いよいよ試飲を試みることに。どくだみ茶の時とは違い優しい香りに惹きつけられた子どもたちは期待大の様子で、コップにたっぷり注いでいました。「ほっとする～」 「いい香り」と想像していた通りの味だったのか、笑顔の子もいれば、お口に合わず、やはり飲み慣れていないお茶の味に違和感を感じた子もいました。お茶が出来上がるまでの時間は沢山かかるけれど、出来あがった茶葉の量はちょっぴり。しかし、一生懸命作ったお茶の味は、一人ひとりの心に残る味となったのではと思います。体にいい味というのは間違いなくお墨付きです！！

体にいい植物の効能を
調べました。



Fちゃんは、「おいしい～」
「のみやすい～」と満面の笑み♡
次のお茶づくりにも意欲的です！！

想像して味とは違ったHくんですが、「体に良さそう」と、たっぷり注いだお茶を飲みほしました！！表情は厳しいですが、飲みほした達成感を感じますね。

さくらんぼ狩り

ご近所にお住まいの保護者の方にさくらんぼ採りのお声かけをしていただき、張り切ってさくらんぼ狩りへ行ってきました！大きな木に沢山実っているさくらんぼを見て、気持ちが高ぶる子どもたち。手の届きそうなところは背伸びしながら取らせていただきました。今すぐにでも食べたい気持ちを抑えて、お昼ご飯のデザートやおやつの時間にいただきました。甘くて美味しい採ってきたばかりのさくらんぼ、「もっと食べたい」「ジャムにしてみたい」と会話も弾みました。



さくらんぼを採らせていただいた帰り道、子どもたちはさくらんぼをどうやって食べたいかの話で盛り上がり、さまざまな意見があった中から「凍らせて食べたい」「クッキーに入れてみたい」の2つを試みることにしました。

ひとつぶひとつぶ丁寧に種を取り、乾燥機にかけました。またまた次の日、乾燥機の中のさくらんぼはというと、「昨日は赤かったのに茶色くなってる・・・」と色の変化に気がついていた子どもたち。「味も違うのかな？」と疑問に感じながら見つめていました。加工したさくらんぼを使ってのクッキングも楽しみです。



クッキー作り

園とご家庭、保護者の方向士が繋がり合あい、親睦を深めて行きたいという思いから始まったファミリープロジェクトの一つとして、家族にクッキーを作ってプレゼントしようというサプライズを計画しました。子どもたちが収穫したさくらんぼや桑の実、園庭で育てているハーブや抹茶を使ってクッキーを作りました。こねたり、形を作りながら、「これはおかあさん、これはおじいちゃん」と言いながらあげたい人をイメージしながら作っていたMちゃん！その日の帰りに、家族へクッキーのプレゼントをしました。「ありがとう」と照れながらも言葉を添えなが渡す姿も見られましたよ。自分たちで作ったクッキーの味は最高においしかったと思います。



東原の土手は楽しい場所

園舎の近くにある土手はお気に入りの場所。草滑りをするのにちょうどいい傾斜です。春と秋は草滑り。冬になると雪滑り！季節が変化しても楽しい場所であることは変わりなく、とっておきの場所となっています。



鳥との出会い



昨年度から続いている鳥への興味は今年度も子どもたちの心に宿り、羽を集めたり、好きな鳥の絵を描いたりと真剣でした。鳥の名前にもさらに詳しくなりました。大好きな鳥が、子どもたち一人ひとりの頑張る気持ち、心の成長につながり、小学生へと新しい場所へそれぞれ旅立っていきました。渡り鳥のように、また、同窓会で会える日を楽しみに・・・